

2025 年度 日本結晶学会 第 3 回評議員会 議事録

日時：2025 年 11 月 15 日 13:00 ~ 15:00

場所：日本大学文理学部 百周年記念館 2 階会議室 1 および Zoom によるハイブリッド形式
出席※：足立伸一^a，青柳忍^a，五十嵐教之^a，海野昌喜^a，尾関智二（次期会長），大原高
志^a，河野正規^a，久保田佳基^a（行事幹事），小島優子^a，小松一生^a，清水伸隆^a，菅
原洋子^a，杉本邦久^a（庶務幹事），杉山和正（会長），玉田太郎^a，藤間祥子（会計幹
事），中川敦史^a，中塚晃彦^a，西堀英治^a，橋爪大輔^a，藤井孝太郎^a（広報幹事），水
牧仁一朗（編集幹事），宮原郁子^a，森川大輔（情報幹事），山下恵太郎^a，山田悠介
^a，山本雅貴^a，和田啓^a

委任状出席者※：植草秀裕^a，上村みどり^a，熊坂崇^a，栗栖源嗣^a，関根あき子^a，南後
恵理子^a，禾晃和^a（監査役）

欠席：原田彩佳（男女共同参画）

議長：杉山和正（会長）

議事録作成者：杉本邦久（庶務幹事）

※2025 年度第 2 回評議員会（定数 30, 構成員は^aで表記）：出席 23, 委任状出席 7
(五十音順、敬称略)

日本大学にて開催した。上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻
に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として杉本邦久評議員が選
出された。

議事

報告事項

1. 幹事報告

1-1. 庶務幹事報告（杉本庶務幹事）

会員異動に関する報告があり、学会推薦を行った助成金の採択状況についても報
告がなされた。

1-2. 会計幹事報告（藤間会計幹事）

2024 年度中間決算および 2025 年度予算について報告があった 2025 年度予算歳
入の会費金額に誤りがあったため、修正する旨の説明が行われた。

1-3. 編集幹事報告（水牧編集幹事）

学会誌の発行が順調に進んでいることが報告され、今後も円滑な刊行が見込まれ
るとの説明があった。また、北川進先生のノーベル化学賞受賞および AsCA2025
に関する記事を掲載予定であることが報告された。

1-4. 行事幹事報告（久保田行事幹事）

「対称性・群論トレーニングコース」および「X線解析講習会」が予定通り開催されたことが報告された。あわせて、2025年度以降の年会に関する計画や方向性について検討が進んでおり、各行事が円滑に実施できるよう調整を行っている旨の説明があった。

1-5. 情報幹事報告（森川情報幹事）

ホームページの更新状況およびアクセス分析について報告があった。また、X(旧Twitter)を用いた情報発信を継続し、学会の認知度向上を図っていることが説明された。AsCA2025でも現地からXを用いた情報発信を行う予定であることが報告された。

1-6. 広報幹事報告（藤井広報幹事）

メール配信に関する報告があった。また、Xにおいて学会誌過去記事の閲覧数が増加傾向にあることから、今後も継続して過去記事の紹介を行う旨が説明された。

1-7. 男女共同参画推進幹事報告（原田男女共同参画推進幹事）

原田男女共同参画推進幹事より、男女共同参画学協会連絡会より幹事学協会の輪番制に関するアンケートが届いており、受任の可否やその際の障壁について回答する必要があることが説明された。また、「女子中高生 夏の学校」イベントに参加した際の状況について報告があった。

2. AsCA関連（杉本AsCA評議員）

AsCA2025の準備状況について説明がなされた。また、AsCA2025における総会および授賞式の日程について報告があった。

3. IUCr関連（中川日本学術会議 IUCr分科会委員長・IUCr理事）

次のIUCr分科会において、IUCr Bragg Prize推薦、IUCr2025、AsCA2025に関する実施報告を行う予定である旨の説明があった。

4. 日本学術会議関連（中川日本学術会議 IUCr分科会委員長・IUCr理事）

次の結晶学分科会にて公開シンポジウムの実施報告が行われる予定である旨の説明があった。

審議事項

1 会員異動について

入会希望62件は満場一致で認められた。

2 協賛・共催等依頼について

後援の依頼1件、協賛の依頼2件について、満場一致で認められた。

3 次期会長（2026・2027年度）および評議員（2025・2026年度）候補者推薦の結果について

下記の評議員（2026・2027年度）候補者推薦の結果について、満場一致で承認された。

4-1. 会員推薦による次期評議員候補者について

WEB推薦期間：2025年9月16日（火）10:00～10月23日（木）17:00

開票：2025年10月24日（金）杉山会長・藤間会計幹事・杉本評議員（オンライン）

有効投票者数：87名（前年度96名）

本会細則第2章第5条第5項に従って、3票以上の得票者で上位15名である藤間祥子（15票）、小松一生（14票）、禾晃和（14票）、玉田太郎（12票）、植草秀裕（11票）、坂井直樹（11票）、久保田佳基（11票）、松村浩由（9票）、井上豪（9票）、橋本博（9票）、沼本修孝（7票）、中川敦史（6票）、森吉千佳子（5票）、尾瀬農之（5票）、南後恵理子（5票）を会員推薦次期評議員候補者とした。13位の5名が同得票数あったが、細則に従い年少者を候補者とし、足立伸一（5票）、岩田想（5票）を次点とした。

4-2. 評議員による次期会長候補者・次期評議員候補者の推薦について

評議員推薦による次期度会長候補者・次期評議員候補者の選出のための投票が行われた。

投票方法：Google Formsを利用したオンライン投票

投開票日時：2024年11月7日（金）

開票者：杉本庶務幹事

本会細則第2章第5条第6項に従って、評議員による推薦投票を行い、焼山佑実（8票）、菅原洋子（7票）、門馬綱一（6票）、千田俊哉（6票）、西堀英治（5票）、富安亮子（5票）、足立伸一（5票）、杉山和正（5票）、原田潤（4票）、森川大輔（4票）、の10名を評議員推薦次期評議員候補者とした。9位の3名が同得票数あったが、細則に従い年少者を候補者とし、尾関智二（4票）を次点とした。

4-3. 会長推薦による次期評議員候補者について

本会細則第2章第5条第7項に従って、以下の5名の次期評議員候補者が会長により推薦された。橋爪大輔、石橋広記、有馬寛、原田彩佳、濱田麻希。

5. 名誉会員の推戴について

杉本庶務幹事より、会員からの提案として、中井泉会員を名誉会員に推戴したいとの提案が示された。これについて議論が行われ、その結果、満場一致で承認された。

6. 表彰の創設について

杉本庶務幹事より、学会の発展を支えてきた会員に対し、感謝と敬意を明示的に示す枠組みを設けたいという執行部からの提案が示された。これについて議論が行われ、その結果、特別賞に関する細則を新たに設け、会員からの推薦により会長あるいは庶務幹事へ提案できること、授与頻度については特に定めず必要に応じて実施することが了承された。また、この細則については、次回の評議員会までに整備することとなった。

7. 次回評議員会日程について

杉本庶務幹事より、次回の評議員会は2026年3月28日（土）に日本大学の文理学部キャンパスで行う予定であることが告げられた。詳細は評議員にメール等で告知され

る。

以上

上記の決議を確認するため、議事録を作成し、出席した会長、評議員が記名押印する。

2025年 11月 17日

一般社団法人日本結晶学会

評議員会

議長・会長 杉山 和正 印

議事録署名人・評議員 杉本 邦久 印